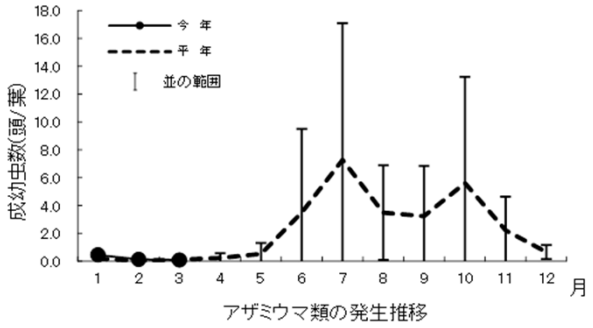
平成　30 年度

作物	マンゴー	地域	沖縄群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
3 月の発生量（現況）	並		
4 月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	成虫・幼虫数の平年の発生推移、トラップの誘殺虫数の平年の発生推移から、３月より発生量は増加すると考えられる。		

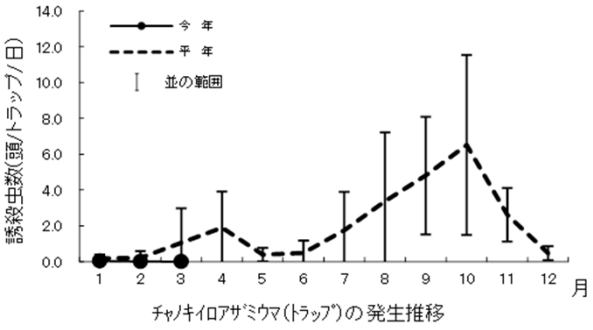
発生量の根拠（調査結果）

（見取り調査の結果）



アザミウマ類の発生推移

（トラップ調査の結果）



チャノキイロアザミウマ(トラップ)の発生推移

防除のポイント

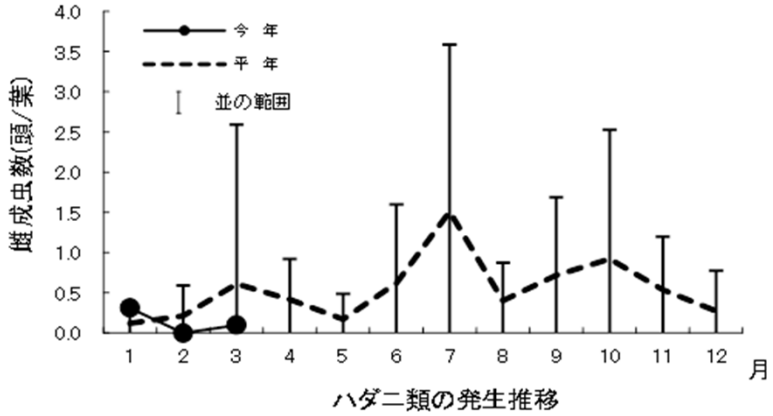
・開花期以降は本種が増加しやすいので、早期発見・防除に努める。
・開花中に薬剤散布を行う場合は、受粉昆虫に影響のない薬剤を選択する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
・キダチコミカンソウなど、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・不要な新梢は、施設外に除去する。

平成　30 年度

作物	マンゴー	地域	沖縄群島
病害虫名	② ハダニ類	シュレイツメハダニ	
3 月の発生量（現況）	並		
4 月の増減傾向	↘		
増減傾向の根拠	雌成虫数の平年の発生推移から、３月より発生量は減少すると考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）

（成葉における調査の結果）



ハダニ類の発生推移

・ 新梢および花芽における寄生雌成虫数は0.1頭/葉だった。
・ 発生種はすべてシュレイツメハダニだった。

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ症状